

第13号
平成27年9月



山梨県立山梨高等学校同窓会
同窓会だより



山梨高校創立100周年記念事業・募金活動へのご協力を

同窓会長 吉原五鈴子

改めて時の過ぎゆく速さを覚える昨今です。同窓会だよりも第13号を数えることになりました。去る4月29日、本会同窓会総会・懇親会が多数の同窓生のご参加を頂き盛大に開催されましたことに厚く感謝申し上げます。これも偏に本年度幹事役をお務め下さった村田恵子実行委員長様はじめ実行委員様方全員の強力な連携と行動力あってのこと、厚く御礼申し上げます。更に実行委員会からは、本年度第1回役員会の折、学校及び本会への多額なご寄付も頂きました。100周年記念事業に活かすべく有意義に使わせて頂く所存です。誠にありがとうございました。

創立100周年記念事業の募金活動をいよいよこの10月1日をもって開始することになりました。近々お手許に届く予定の募金趣意書に縷々と本校の歩みや事業の内容、募金方法等記させて頂きましたが、ご一読の上絶大なるご支援をお願い申し上げます。

本年はまた戦後70年の節目の年、先頃山梨平和ミュージアムより刊行された「戦時下・戦後を生きて～戦後70年に当たって～」には、本校同窓生の方も寄稿され、読むほどに戦時下の学校生活に改めて思いを馳せたことでした。昭和19年、念願の女学校に入学されながら、午前中は藁人形を敵に見立てて竹槍訓練、学校での勉強は皆無。連日、軍馬のための草刈り作業に追われ、上級生は体育館で軍服を縫うミシン作業、「教室で勉強をした思い出はない」の1行に思わず涙しました。

向学心に燃えながら厳しい戦中・戦後を生きてこられた先輩方の歩みも踏まえ、今私たちはこの100年を振り返る作業も進めようとしてあります。記念誌刊行にあたり、参考になる資料等お手許にございましたらぜひ、学校事務局あてご紹介をお願い致します。

尚、この記念事業を通して在校生の勉学や諸活動への真摯な挑みに少しでも力添えができると想っております。会員の皆様の絶大なるご支援を重ねてお願い申し上げます。

この夏の宿題

学校長 秋山宏子



今年も暑い夏がやって参りました。梅雨明けとともに、照りつける太陽と蝉の声、夕方に響く遠雷など夏の風物詩がまた訪れています。梨窓会員の皆様におかれましては、この夏をいかがお過ごでしょうか。

今年は、終戦から70年が経過した節目の年となりました。二度と戦争を繰り返さないよう、また、平和の尊さやこれを維持していくためにはどうするかを考えていく機会としたいと思っています。生徒たちにも、この夏休みには「平和について考えよう」という課題を与えました。特に、次第に高齢になっている戦争体験者からの話を直接聞くことが大切だと感じています。毎年秋には、2年生が修学旅行で沖縄を訪れます、語り部の講話や平和記念館等の見学は平和学習として貴重な機会になっています。

また、今年度から創立100周年記念事業である記念誌の編集作業に入っていますが、本校の一世紀近い歴史を振り返っても、戦争に翻弄された時代を感じることができます。平和な時代に生きる現在の生徒たちは、學習に部活動に精一杯力を発揮しており、充実した高校生活を送ることができます。平和な時代だからこそできる平穡な高校生活に感謝しながら、平和への意識を高めていくことができればと思っております。

最後に、今後も皆様方の本校への変わらぬご支援を協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

平成27年度山梨高等学校同窓会総会・懇親会

一袋の「かりんとう」

平成27年度第98回山梨高校同窓会総会実行委員長 村田恵子

同窓会の懇親会が終わり、皆様を送り出してほっとした時「実行委員長さんに渡して下さい」と、萩原さんという先輩から預かった一袋のかりんとうが仲間から渡されました。

思い当たる萩原さんのお姿を数人推察してみましたが、該当者が確認できぬまま家に持ち帰りました。旅の友として鞄に入れてお持ちになっていたのかもしれません、その一袋のかりんとうが「お疲れ様でした。みんなでゆっくりお茶して下さいね」と、私に語り掛けてくれているように感じられ、温かいお気持ちを頂き感謝の念で胸が熱くなりました。

今年度は、昭和47年度と平成4年度の卒業生が当番幹事の任に当たり、それぞれが持てる力を出し合い、高校時代を懐かしみながら任務を遂行致しました。42年ぶりに再会した友と実行委員会に参加し、充実した日々が送れたと、今思っています。

参加者から「良かったですよ。ご苦労様でした」と、労って下さる温かい言葉や「とても楽しかったから、また来年も出席します」と、言ひながら帰られた後輩・東京から出席された同級生は「友達が活躍していて嬉しい」と、喜んでくれました。

セレブションコンサートでは、オカリナ奏者大澤聰先生の熱意溢れる演奏に感動し、高校時代を語り合い、和やかに懇親の輪が広がって素晴らしい時間となりました。

大勢の方に参加して頂き盛会に実施出来ましたことは、協賛頂きました関係各位の皆様並びにご指導ご協力を賜りました本部役員及び各支部の先輩方のお蔭と心より感謝申し上げます。

尚、今年度の総会の残金は、学校と同窓会への寄付並びに梨窓会館のカーテンとカーペットの取り換え・会議用テーブルの購入に利用させて頂きました事を報告致します。

特に総会の前日、進んでトイレ清掃をし、部活動終了後に機敏に体育館の会場準備をして下さった在校生、また、当日の在校生の演奏や演技はどうしても素晴らしい、心温まるものばかりでした。ご指導頂いた先生方には深く感謝申し上げます。

山梨高校の「至誠無息」の校訓と良き伝統は今も変わらず、在校生の活躍は同窓生として嬉しく誇りに思います。そして、優しく甘いかりんとうが、心に残る味になりました。

終わりに、山梨高校と同窓会の益々の発展を祈念するとともに、皆様のご協力に感謝致します。

平成27年度同窓会役員紹介

常任顧問 秋山宏子

顧問 古屋純子

丸山正一

(故)岩崎一恵

参考丸山とみ子

佐野知都子

前嶋宇夕子

会長吉原五鈴子

副会長高橋文子

矢崎圭子

遠藤文子

三科典子

落合節子

雨宮道子

雨宮悦子

監事島田洋子

山梨支部武藤俊子

三森恵

丸山美佐子

遠藤三恵子

雨宮悦子

小林千恵子

高橋夕起子

牧丘支部間瀬朝子

山本光子

三富支部日原貴美保

塙山支部山下五十鈴

武井孝子

遠藤三恵子

石和支部渡辺みか子

小林千恵子

高橋夕起子

一宮支部上野二葉

一宮支部小池富美子

久津間薰

向山賀子

御坂支部保崎かおり

春日居支部加藤純子

遠藤三恵子

雨宮節子

望月順子

上野二葉

小池富美子

久津間薰

向山賀子

御坂支部保崎かおり

春日居支部加藤純子

遠藤三恵子

雨宮節子

望月順子

上野二葉

小池富美子

久津間薰

向山賀子

御坂支部保崎かおり

春日居支部加藤純子

遠藤三恵子

雨宮節子

望月順子

上野二葉

小池富美子

久津間薰

向山賀子

御坂支部保崎かおり

春日居支部加藤純子

※岩崎一恵 平成27年9月2日ご逝去されました。

※他の支部については、候補中です。



同窓生の活躍紹介



プロフィール
しめい きぬえ
標 衣 枝

標衣枝様は、昭和35年卒業の卒業生です。高校での3年間は弓道に明け暮れ、多くの大会に出場し、立派な成績を納められました。卒業後もこの道を研究され、73歳になられる現在も現役として様々な方面で活躍です。

山梨高校の弓道部の顧問としても長い間ご指導され、現在に至っています。

再びの弓道部

山梨高校を昭和36年3月に卒業してから活字にして見れば気が遠くなるほど歳月が流れてしまった。実に55年である。

そして今、私は73歳になろうとしている。

振り返れば、在学中弓道部に入部して弓に明け暮れた3年間であった。顧問の先生や仲間に恵まれて、栃木県の関東大会や、宮崎県の全国大会にも出場出来た。

それほど傾注した弓道であったが、まさか73歳に至るまで現役で続いているとは自分でも驚きである。50年も必死に努力しているのにも拘らず、まだまだ道半ばで試行錯誤の毎日である。そんな私ではあるが、県の教育庁の委嘱状の下に平成14年から母校山梨高校の外部講師として弓道部員の指導に当っている。

梨高は、女子高だった当時はすっかり様変わりして、放課後は男子生徒の応援団の力強い声が太鼓と共に校庭の隅々に響き、校舎の窓からはプラスバンドや美しいコーラスの流れが弓道部の中まで聞こえてくる。眼を閉じれば自分が高校生のまま学園の中にいるような錯覚さえ覚えるほどである。

さて、そんな環境の中で「弓道の心を教えよう」と責任ある講師を引き受けながら早、十余年になる。初めは驚くような行動の生徒もいて戸惑った時もあったが、私は一貫して自分の師に教わった心技を確認しながら自分の為に生徒と共に学んできた。そして10年の間に今、梨高弓道部はしっかりととした至誠と礼節を重んじ神聖な道場で稽古に励む伝統がすっかり整ってきている。現在3年生も入れて30名ほどの部員であるが顧問の森岡博美先生の下、先輩後輩の絆もしっかりと日々稽古に励んでいる。近年先輩たちは関東大会や全国大会にも出場するまでに至り、本年はインターハイ個人の出場権を小宮山部長が勝ち取ってくれた。県代表は2名だけである。

的てることはなかなか難しいことはあるが、弓を引くうえで身に付いたものは必ずや社会に出てから役立つものであると私は何時も生徒に言っている。礼の仕方一つとってもその人の人格が現れるものである。全員の靴が整然と揃っている道場の入口に入るたび心洗われる気分になるのである。

この生徒たちが何時までも弓の心を持ちながら良き社会人に成長してくれることを願って今日も放課後の部活動へ足を運ぶ。

今回は山梨高校弓道部を長年ご指導いただいている
標衣枝 様からご寄稿頂きました。



プロフィール
あめみやそうぼう
雨宮宗房

現在91歳になられる雨宮宗房（房子）様は、平成26年度末までの34年間、山梨高校の茶道部の指導に当たされました。多くの生徒たちに茶道の心得を伝えると共に、同窓会総会の折にも心温まる話を下さいました。

聞き手：雨宮悦子 副会長

雨宮宗房先生！長い間有難うございました。

去る6月中旬、山梨市上神内川にお住まいの茶道裏千家雨宮宗房先生を訪ねました。

茶室に掲げてある、茶道裏千家千宗室お家元より、永年に亘り学校茶道指導者として、青少年の人格形成に尽力された功績を讃えた、立派な額縁の感謝状に感嘆しました。早速、山梨高校茶道部への関わりや茶道教育への思いをお聞きいたしました。

山梨市出身の先生は現在91歳で、県内の高等学校での教職を経て25歳の時、明治の時代から「白線と洋裁縫女学校」を開校していた雨宮茶道部へ嫁ぎ、義母と共に、この地域の女子教育の先駆けとして尽力されてきました。

梨高茶道部へは、昭和56年に先代の岡村宗代先生から引き継ぎ、34年に亘り指導をされ、今年3月に退任されました。

先生は、「茶の湯の精神を示す言葉『一期一会』『和敬清寂』を信条に、茶の稽古は、お点前その他の全般にわたって、生活の起居動作の基本が込められている故、基礎となる動きをしっかりと身につけます。先ずはお辞儀から稽古を積み、次第に所作に出るようになり、将来よりよい人柄がくられるとの思いで部員を指導してきました」と語られました。

また、「お陰さまで道具も充実していて、県内でも屈指の茶道部であり、文化祭、各高校間茶道部の茶会、外国からの留学生への指導などにも取り組み、最近では部員数も増え、男女共学となり、お茶席に生徒が入ってくれたことが喜ばしかった」とも話されました。

「同窓会総会の折、校門入り口での立札席では『一期一会』を大切に、心をこめて点てたお茶を出席者に一服差し上げ、部員と共に皆さんをお迎えしていました」とのさりげない言葉に、毎年、総会前におもてなしをして頂き、同窓生として心から感謝申し上げます。

今年の総会にもお弟子さんと部員の皆さんが宗房先生の教えをしっかりと引き継ぎ、その伝統を継承してきました。

これらの先生は、お弟子さんに稽古は勿論、趣味や可能限り社会参加など出来たらと尽きない抱負を語られ、身のこなしも大変お若い先生の点てた美味しいお茶をいただき、茶室を後にいたしました。

今回は雨宮先生宅を訪問して
インタビューをさせて頂きました。

学校だより・学校ニュース

守り、繋いでいくこと ～百周年に向けて～

生徒会長 小林早希



私が生徒会長になってから早一年が経ちます。21名の仲間である生徒会役員とともに役割を全うしようと活動する中で、考え、学ぶ一年でした。

生徒会行事は一学期に集中します。まず4月の新入生オリエンテーションは、新入生に山梨高校生としての自覚を持ってもらうための行事です。私たち生徒会役員や応援団の指導を必死に受け新入生の姿に、半年前の自分の重ねる誤間もありました。一方で、指導することの難しさを感じさせられました。5月の高校総体では、各部が日々の練習の成果を存分に發揮し、学校得点は男女どちらも昨年よりも約10位、順位を上げることができました。試合会場では、選手と応援生徒が一体となって声援をおくり、山梨高校の団結力を改めて実感しました。

生徒会活動の最大行事は6月の梨祭です。今年は例年に比べて準備期間が短く、自分に課せられた役割と責任の重さに押しつぶされそうでした。短い準備期間でしたが、各クラスは団結してクラス企画や発表に一生懸命に取り組み、「Link～友と紡ぐ記憶～」という梨祭のテーマ通り、忘れられない2日間となりました。梨祭を成功させることができたのは、生徒会本部役員や梨祭実行委員、クラスメイトの支えも大きかったからです。

自分はこんなに多くの人たちに支えられている。周りの人への感謝の気持ちを忘れてはいけないな、と思いました。7月の野球応援は、私たち3年生の本部役員にとって最後の仕事になりました。猛暑の中、野球部が必死にプレーする姿から、私たちにも試合に対するその気迫が伝わってきました。応援団のリードのもの、相手校に負けまいと、全校生徒が一丸となって精一杯の声援を送りました。

こうした生徒会活動を通して、山梨高校の生徒一人ひとりのもつ底力と強い団結力の素晴らしさを行事のたびに感じました。最初は、私なんかが生徒会長で良いのか、私ができるのかなど不安がたくさんありました。今では、この伝統ある山梨高校の生徒会長になれたことをとても誇りに思っています。そして、今まで支えてくださった先生方、生徒会本部役員のメンバーなど多くの方々に改めて感謝しています。本当にありがとうございます。

まもなく新しい生徒会長が誕生します。新生徒会長には、先輩方から受け継いだ伝統をしっかりと受け渡していくたいと思います。誇りを持ってこの素晴らしい山梨高校を守り、そしてもうすぐ迎える百周年に向けてさらには発展させていきたいと思います。

最後になりましたが、同窓会の皆様には日頃から私たちを温かく見守っていただきだけでなく、多くのご支援をいただき、感謝致しております。私たちは皆さまへのご期待にお応えできるよう、山梨高校発展のために、ますます精進してまいりますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

同窓生の方でご活躍している方がおりましたら、事務局までお知らせ下さい。
ご紹介させていただきたいと思います。

関東大会出場、貴重な体験 ～仲間の団結と多くの支えの中で～

女子バドミントン部部長 長野紘



山梨高校に入学して、私は迷わずバドミントン部に入部しました。初めは先輩についていくことで精一杯でしたが、次第に自目的行動できることも多くなっていました。

先輩が引退し、私達の代になりました。新部長が発表されました。男子は廣川達紀さん、女子は私でした。私は驚きと同時に大きな責任と不安を感じました。「ちゃんと支えるよ」との仲間の言葉が心強かったです。私達の学年は男子4名女子4名と少なく一人ひとりの負担が大きかったです。その分全員が強い気持ちでバドミントンに臨んでいました。

新たな目標は、男子は「関東大会出場」女子は「関東大会一勝」でした。練習日やコートの数に限りがあったため、練習も工夫して取り組みました。厳しい練習の中で特に思い出すのは、同じ目標を持つ他校との合同合宿でした。ハードでしたが、仲間と一緒に合うことで「負けない。絶対に勝つ」という気持ちが大きくなりました。また、忙しい中、OBやOGの先輩や多くの方々の指導を頂き、また、高いレベルのプレーを間近で見ることで多くの事を学んだ日々でした。

3年生になつた4月、関東大会への関門となる県予選が行われ男女共に関東大会への出場権を得ることができますでしたが、残念ながら1回戦で敗退という結果でした。でも、男子は2年連続・女子は3年連続出場という成果を残すことができ「後輩にもつなげていってほしい」という気持ちを強く持つようになりました。

私がここまでバドミントン部の一員として頑張れたのは、時にはぶつかり合うこともあります。互いに支え合い切磋琢磨しながら強くなるとする仲間の存在があったからだと思います。また、顧問の澤瀬先生や秋山先生、今福先生の存在です。技術面はもちろんのこと、礼儀や心構えなど多くのことを教えて頂きました。沢山の方々の支えがあってこそ今があることに感謝し、大好きなバドミントン部のみならず、山梨高校の全ての部活動が活気に溌濱、百周年に向けて益々魅力溢れる素晴らしい学校になることを祈っています。

平成27年度 山梨高等学校

梨美展

10月12日(祝)～17日(土)

山梨県立山梨高等学校
文化創造館1階梨窓ホール

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

山梨県立山梨高等学校 同窓会事務局 www.yamanashi.kai.ed.jp
〒405-0018 山梨県山梨市上神内川194 ☎tel:0563-22-1621 ☎fax:0563-22-1623